

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0500
施設名	赤ちゃんの家保育園
施設所在地	町田市原町田 6 - 2 7 - 1 0
法人名	社会福祉法人愛育会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

たんぽぽ組 2歳児

【土・砂】

<テーマの設定理由>

園庭に砂場があり、毎日様々な遊びが見られる。散歩先では虫に興味をもち、土を掘ってダンゴ虫を探したり砂場では大きな穴を掘って見立て遊びを楽しむ姿が見られ自由に触れる環境の中で手足を使いながら感触を楽しんでいる。子ども達の興味や遊びの様子から身近な自然に触れられるテーマとして「土・砂」を設定した。

2. <活動スケジュール>

春：砂場遊び 夏：公園で虫探し 秋：プランターでちゅーりっぷを育てる

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

砂場セット・土・肥料・ちゅーりっぷの球根・ジョウロ・虫の絵本・iPad

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

砂場で遊び砂や水を使用しながら感触の違いを楽しむ。「土って何かな？」と子ども達に問いかけながら土や砂に触れる。園庭や散歩先で虫や草花に触れ自然への興味につなげる。ちゅーりっぷの栽培について事前に学び実際に苗を植え水やりをし育てていく。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

砂場では抵抗なく触れて手で握ったり掘ったりしながら感触を楽しむ姿が見られたが栽培の土には最初触りたがらない子もいた。保育士と一緒に「さらさらしているね」「冷たいね」などと声をかけることで少しずつ興味を持って触れようとする姿が見られた。「土って何かな？」と尋ねると「ちゃいろ!」「くろ!」と元気よく答えたり、興味を持って図鑑や絵本を見たりする姿があった。散歩先での虫探しでは「土にいた!」「みて!」と保育士や友達に嬉しそうに知らせていた。みみずやありも土の中にいる事を伝えると「お家なのかな?」と考える姿が見られた。保育士が「土のなかで暮らしているんだね」と声をかけると地面をじっと見つめたり「どこにいるかな?」と探そうとする姿があった。生き物への興味を持ちながら土の中の世界に関心を向ける様子が見られた。



5. 振り返り

土のなかには何があるか尋ねるとペンギンやお化けなど大人では出てこないような発言をする姿を見て、子ども達を感じた事や思った事を「正しい・正しくない」で判断するのではなく自分なりの言葉や表現で自由に伝えられることを大切にしていきたいと感じた。

子どもならではの豊かな発想を受け止めながら一人ひとりが安心して思いを表現できる環境作りを今後も続けていきたい。

自ら土を入れちゅーりっぷの球根を植えることで植物が育つことを楽しみにしている姿が見られた。植物を育てる中で命を育む喜びや大切さに触れ、世話をしようとする責任感も感じられる姿が見られた。